

「国語」・「算数」の力と学習の様子

～『R5 全国学力・学習状況調査』から～

今年度は、国語、算数の調査が行われました。どの教科からも、学校での授業の工夫や家庭での学習の様子がうかがえました。

🌸は良いところ ➡は伸ばしたいところ

【国語】

- ① 学習指導要領の内容・領域における結果 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域と「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」の2内容からの出題でした（我が国の言語文化に関する事項内容の出題はありませんでした）

🌸…すべての内容・領域で全国の平均正答率を上回っています。

- ② 特に正答率の高かった問題

🌸…「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうか

かを問う問題では、全国及び県の平均を超える高い正答率でした。同音異義語（同じ音で異なる意味を持つ言葉）を区別し、誤解を招かないようにすることが捉えられています。

🌸…「読むこと」において、「目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる」問題では、全国の平均を超える高い正答率でした。複数の資料を読み取り、内容を正確に理解し、中心となる語句を選ぶことができます。

- ③ 課題

➡…「書くこと」の領域において、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題に課題があります。伝えたいことを明確にし、分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフなどを用いるとよいかを考えたり、資料を読んで分かったことをもとに、自分の考えをまとめたりする活動が大切です。

【国語の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県 ●越前市

■全国 67.2

全国の平均を上回り、県とほぼ同じでした。

【算数】

- ① 学習指導要領の領域における結果 「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の4領域からの出題でした（「測定」領域の出題はありませんでした）

🌸…「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の3つの領域において、全国平均を上回っています。特に「変化と関係」領域では、県の平均を大きく上回っています。

➡…「図形」領域において、③のような課題が見られました。

- ② 特に正答率の高かった問題

🌸…「変化と関係」領域の「表の中の知りたい数を求める」問題がよくできています。伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取る力や規則性を見つける力が身についています。

🌸…「変化と関係」領域の「比例の関係ではないことを説明する」問題がよくできています。比例の関係について理解し、説明に必要な適切な数値を表の中から選び出すことができます。

- ③ 課題

➡…「図形」領域において、「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する」問題に課題があります。三角形や四角形の面積について考える際、長さが分からない場合に数値を当てはめて面積を具体的に考えたり、ICT等を活用して変形する図形のイメージを捉えたりするなど、実感を伴って理解できる活動が大切です。

【算数の平均正答率】

全国、県、本市の比較位置

◆福井県 ●越前市

■全国 62.5

全国の平均を上回り、県とほぼ同じでした。